

『社会教育学研究』の査読基準

- 『社会教育学研究』では、これまで「査読の手引き」に則り、査読を実施してきましたが、その中に記載してある査読基準については、査読を担当する会員しか見ることができませんでした。しかし、投稿の際に査読基準を意識して原稿の内容を精査することは重要であると考え、諸規程の改訂のタイミングに合わせて査読基準を公開することにしました。
- 詳しくは、以下の「具体的な基準」をご覧ください。

3. 具体的な基準

(1) 研究論文

①形式の整備

- a. 『社会教育学研究』編集規程・投稿規程・執筆要項を厳守しているか。
- b. 本学会に掲載する原稿として分野は妥当か。
- c. 注・引用文献・資料は適切か。

②研究の目的と方法の妥当性

- a. 論文題目が適切か。
- b. 研究目的が明確か。
- c. 社会教育学研究に貢献できる課題設定か。
- d. 問題設定(目的)に照らして、研究方法は適切か。
- e. 研究対象は適切に選ばれているか。
- f. 史(資)料に適正にあたっているか。
- g. 研究目的に応じて適切な根拠を示して論証を行っているか。

③研究成果の独創性と先行研究の把握

- a. 先行研究の踏まえ方が適切か。適切な引用がなされているか。
- b. 研究成果の独創性が示されているか。
- c. 社会教育学研究としての意義があるか。

④文章表現・用語・図表の適切さ

- a. 論旨が一貫しているか。
- b. 使用されている概念、用語は適切か。
- c. 文章(図表)表現は適切か。
- d. データの解釈は妥当か。
- e. その他

⑤研究倫理の遵守

- a. 研究倫理に関する記述がなされているか。
- b. 研究協力者に関する倫理的配慮が示されているか。

*なお、研究論文においては、②-c、③-bにおいて高い水準を求めることとする。

(2) 研究ノート

研究ノートの査読基準は、研究論文の基準に準じる。

(3) 実践報告

①形式の整備

- a. 『社会教育学研究』編集規程・投稿規程・執筆要項を厳守しているか。
- b. 本学会に掲載する原稿として分野は妥当か。
- c. 注・引用文献・資料は適切か。

②実践の記述の明確性

- a. 題目が適切か。
- b. 実践の目的や対象・方法（どのような目的で、いつ、どこで、誰を対象に、どのように実施されたのか）が、論理性と一貫性をもって記述されているか。

③ 実践の独創性

- a. 実践の内容とその成果に独創性があるか。
- b. 報告における問題設定に意義があるか。
- c. 社会教育の実践としての意義や課題が示されているか。

④文章表現・用語・図表の適切さ

- a. 論旨が一貫しているか。
- b. 使用されている概念、用語は適切か。
- c. 文章（図表）表現は適切か。
- d. データの解釈は妥当か。

⑤研究倫理の遵守

- a. 研究倫理に関する記述がなされているか。
- b. 研究協力者に関する倫理的配慮が示されているか。

(ジャーナル編集委員会, 2022年10月17日)